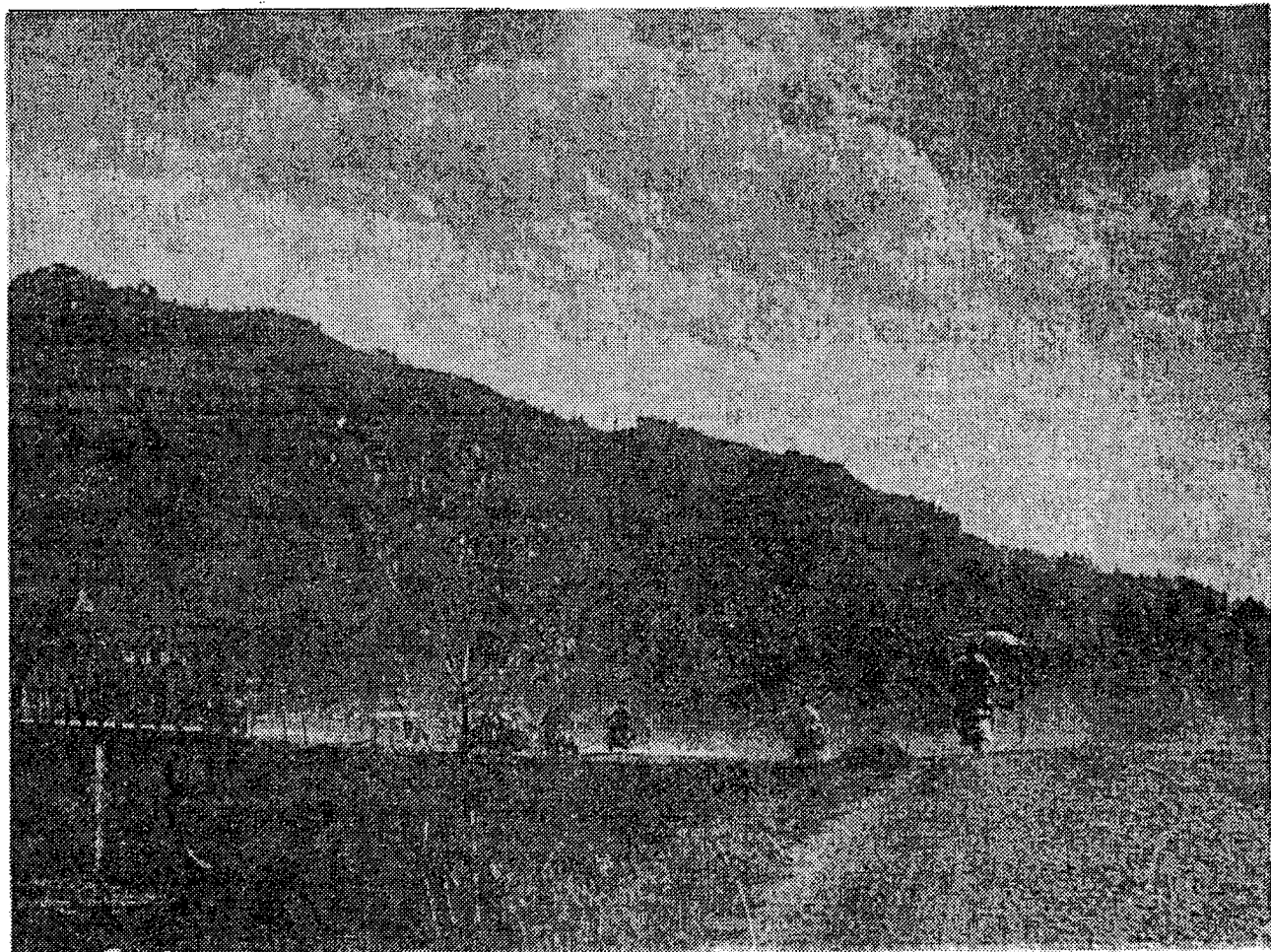




四季を楽しむラビットクラブ

現在全国にはおびただしい数によるラビットの愛用者がおりますが、この人達は各々が何故ともなく、或は趣味の目的をもつておいおいに集つてラビットクラブを結成しました。この数が北は旭川から南は鹿児島まで数十団体を数えます。会員はあらゆる職業、年令、性別に関係なく広く構成され、ラビットの機能研究、運転技術指導、交通法規の研究等が進められています。こうすることによつて愛用者の人達はお互いに親密の度合いをまして行きます。又アウトドースポーツの一つとしてラビットによる遠乗りを実施し、レクリエーションと運転技術の向上をはかっています。

クラブには会長、副会長、会計等が会員相互の中から選出され、規約を設定してクラブの運営に当つております。クラブの議決機関としては総会、役員会が持たれます。こゝで色々なテーマが附議され決定されて実行に移されます。しかしラビットクラブはあくまでもラビットのユーザーの自主的な運営にまかされ、よりよい市民生活のために、ラビットを足として活すべく努力しているところに大きな意義があるといえましょう。

百万人の自家用車ラビットスクーター

昭和30年3月発行 「ラビットハンドブック」 より



ラビットのはなし

ラビットの集い資料（非売品）

発行日 平成8年9月28日

編集 山田 紘二